

2017-11-1

リスの皮膚

宮本拓也

提出機関：Michigan State University Diagnostic Center
for Population and Animal Health, USA

症例：トウブキツネリス (*Sciurus niger*)、成雌

病歴：犬に噛まれているところを発見
外貌が異常であったため検査を実施

検査結果：

- Poxviral DNA polymerase PCR陽性
- リス線維腫ウイルスと同定



Wikipediaより引用

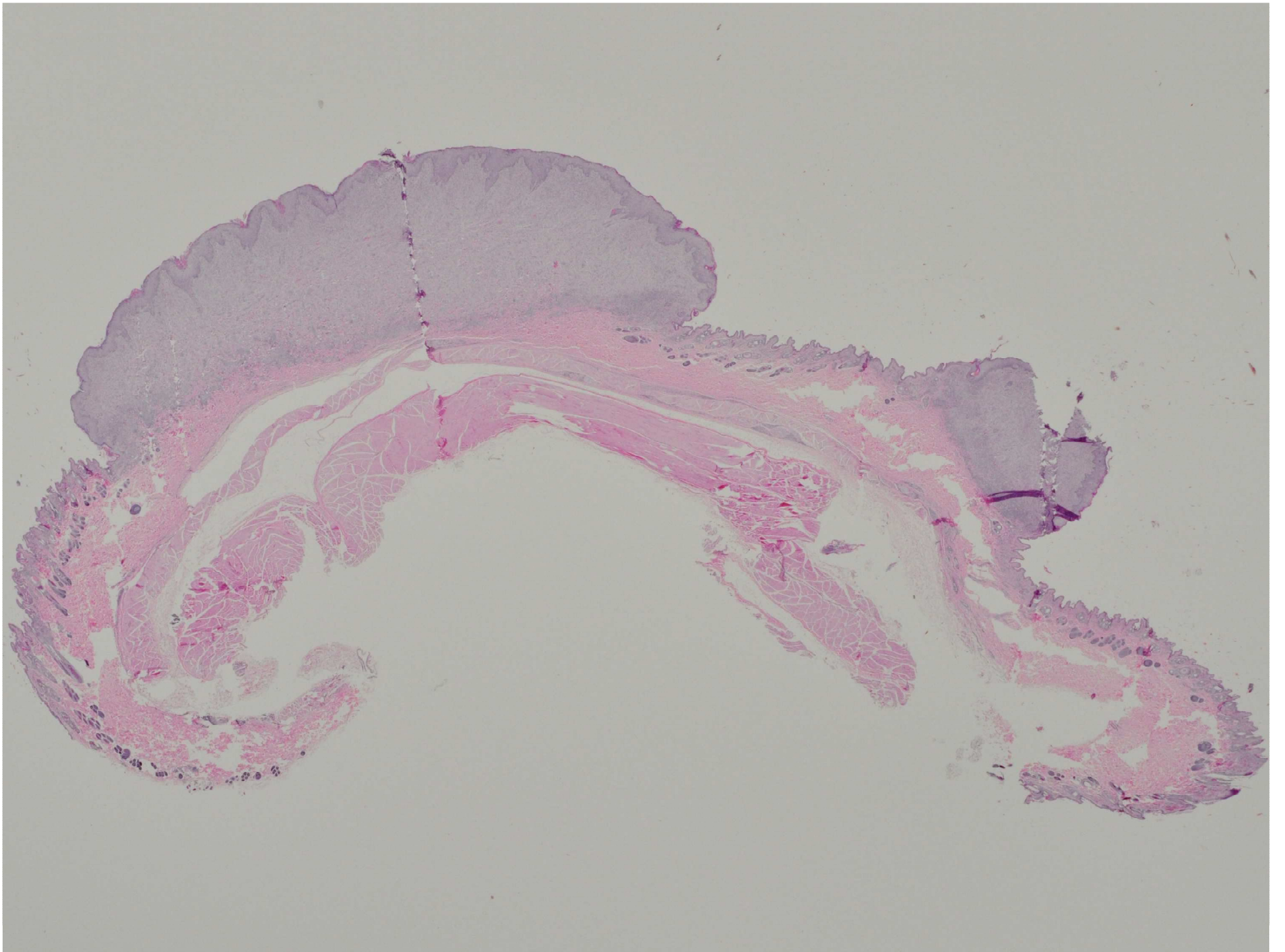
肉眼所見

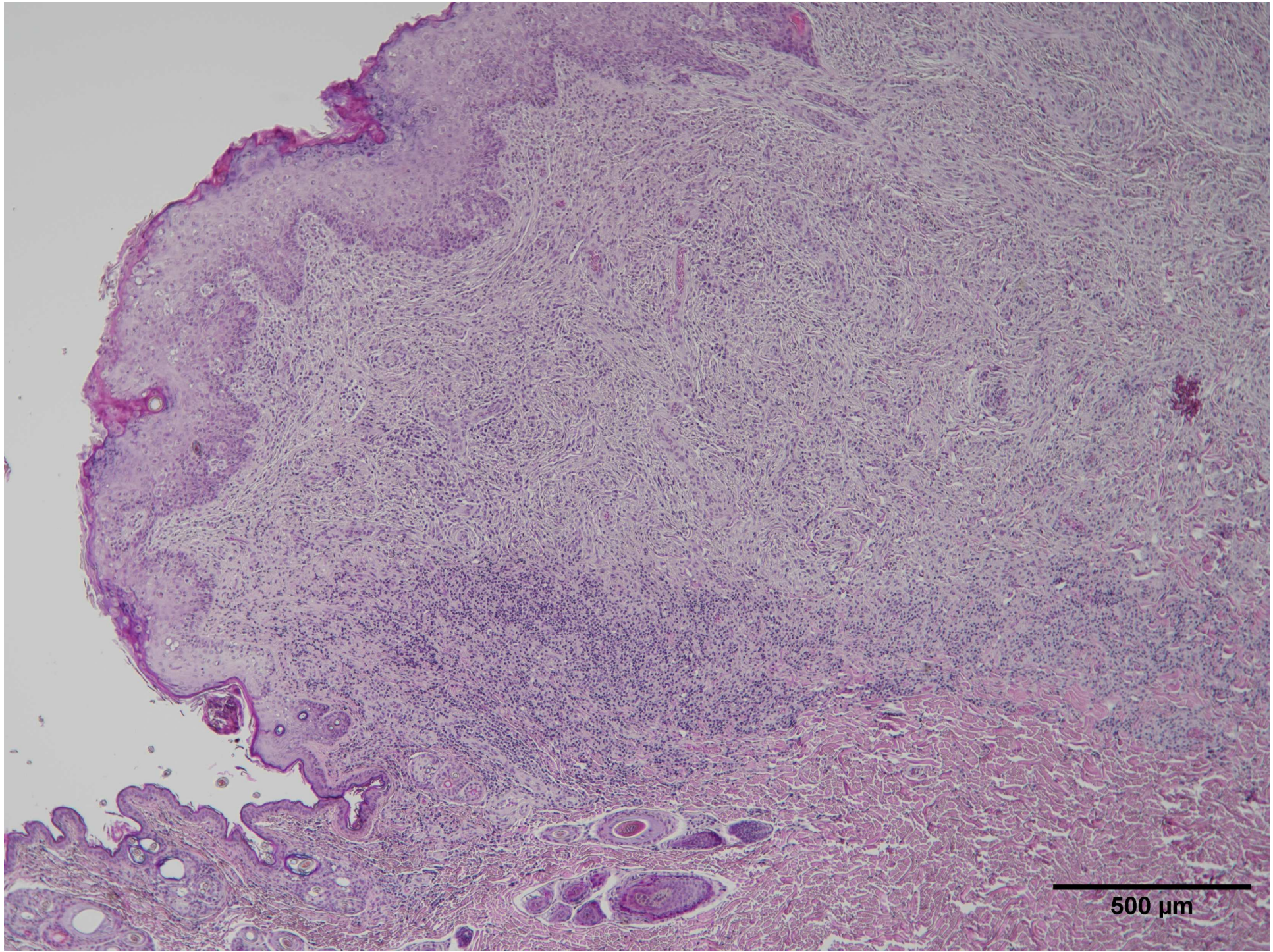


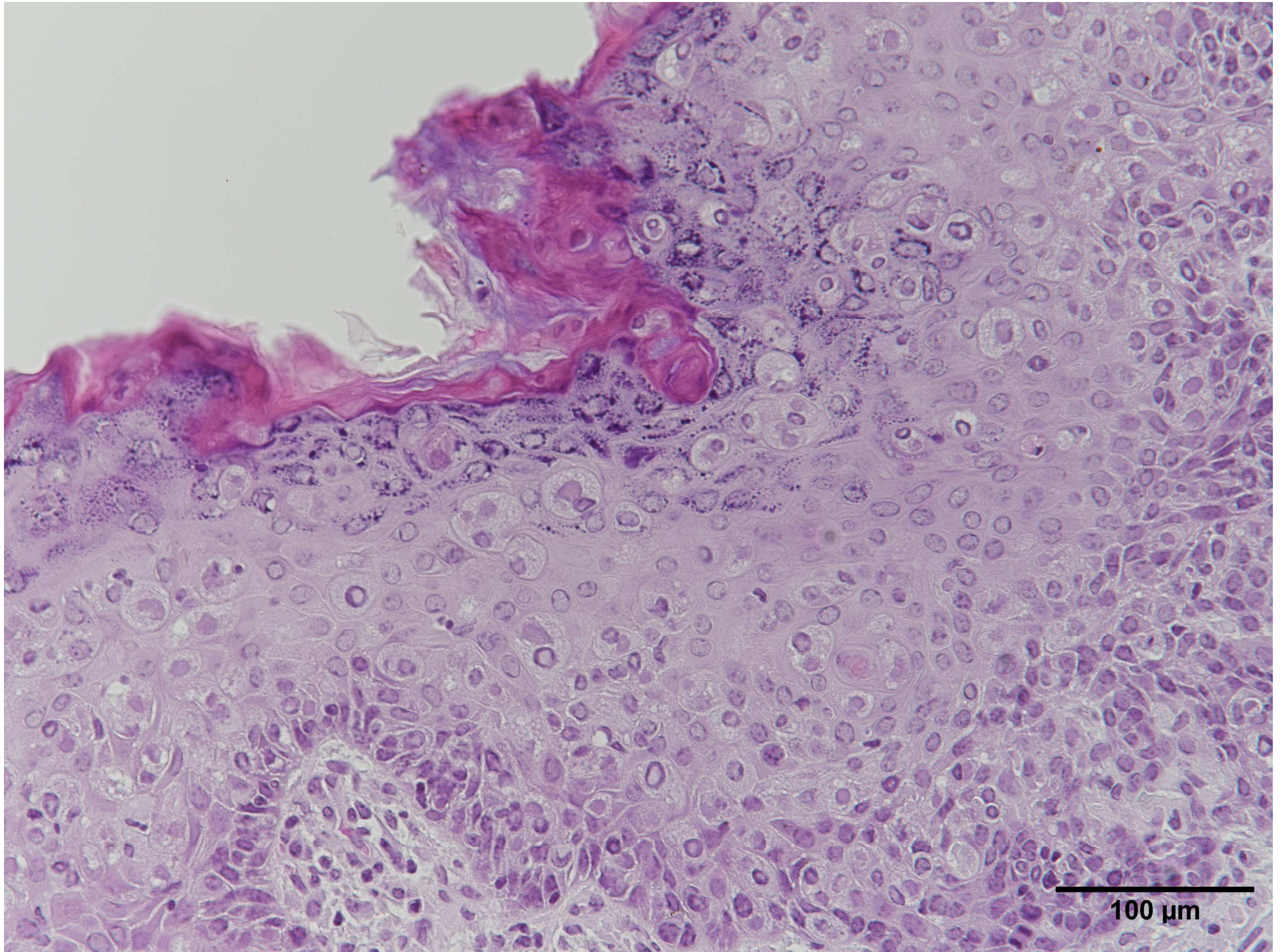
頭部から頸部

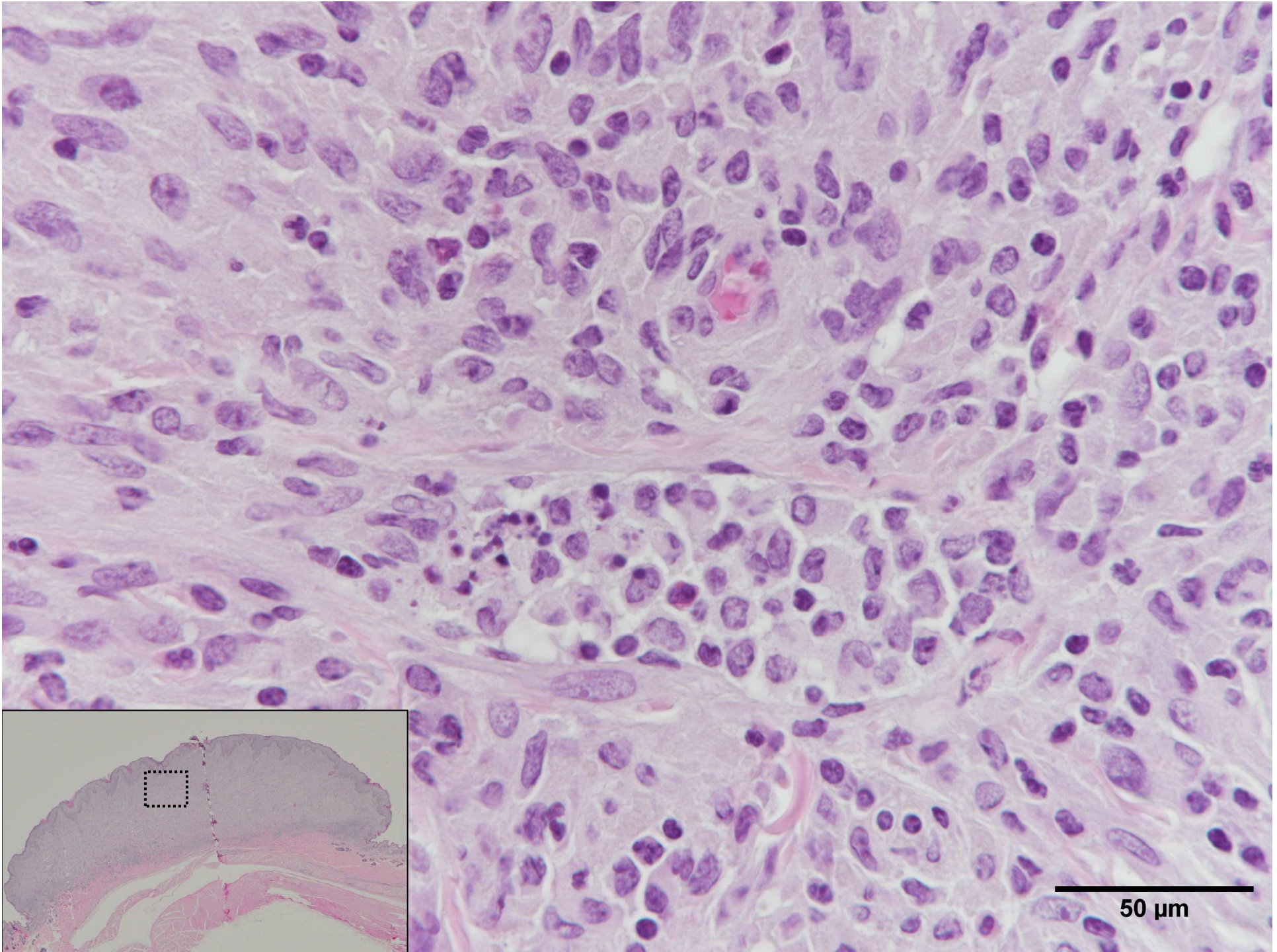


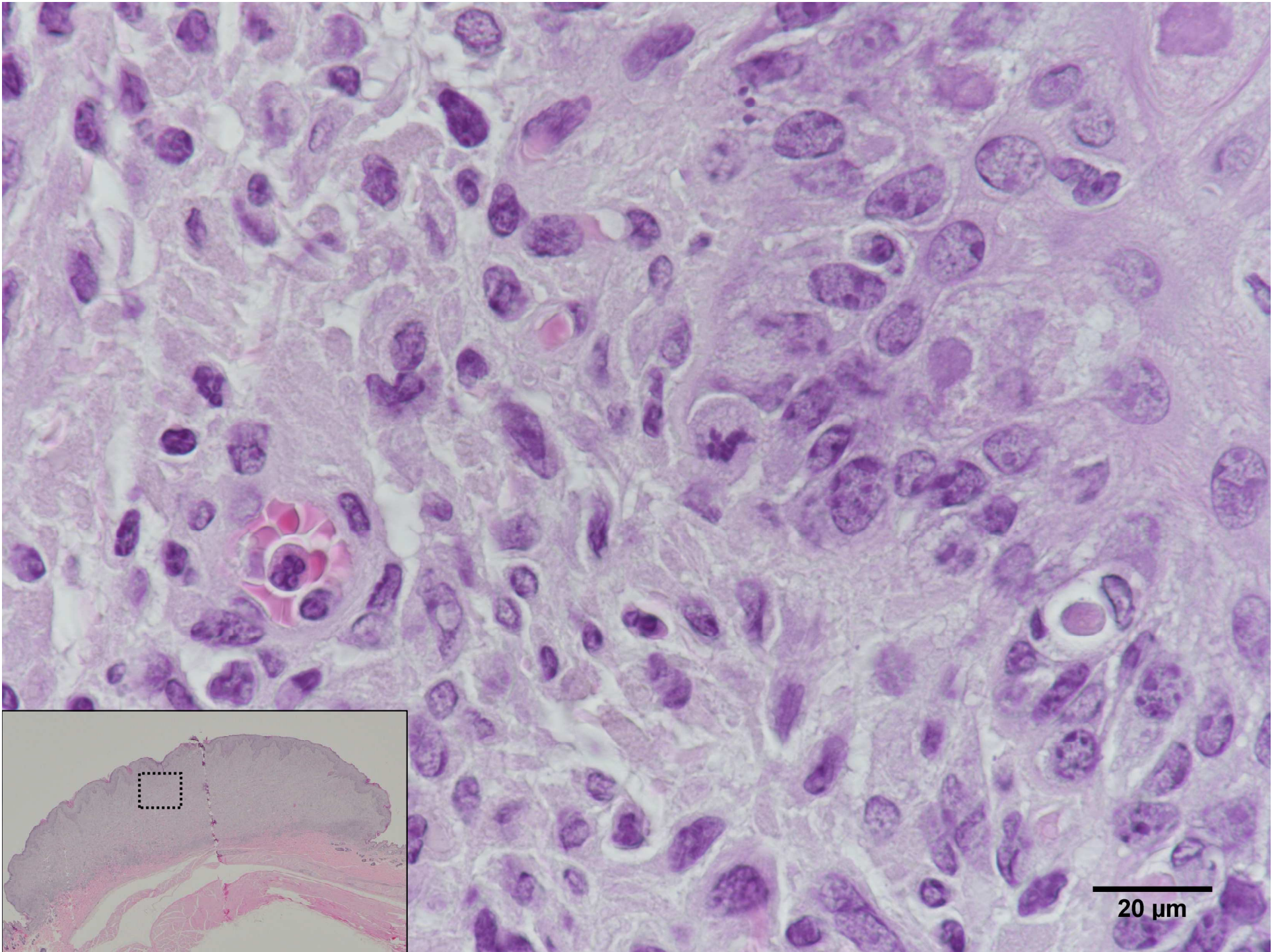
会陰部

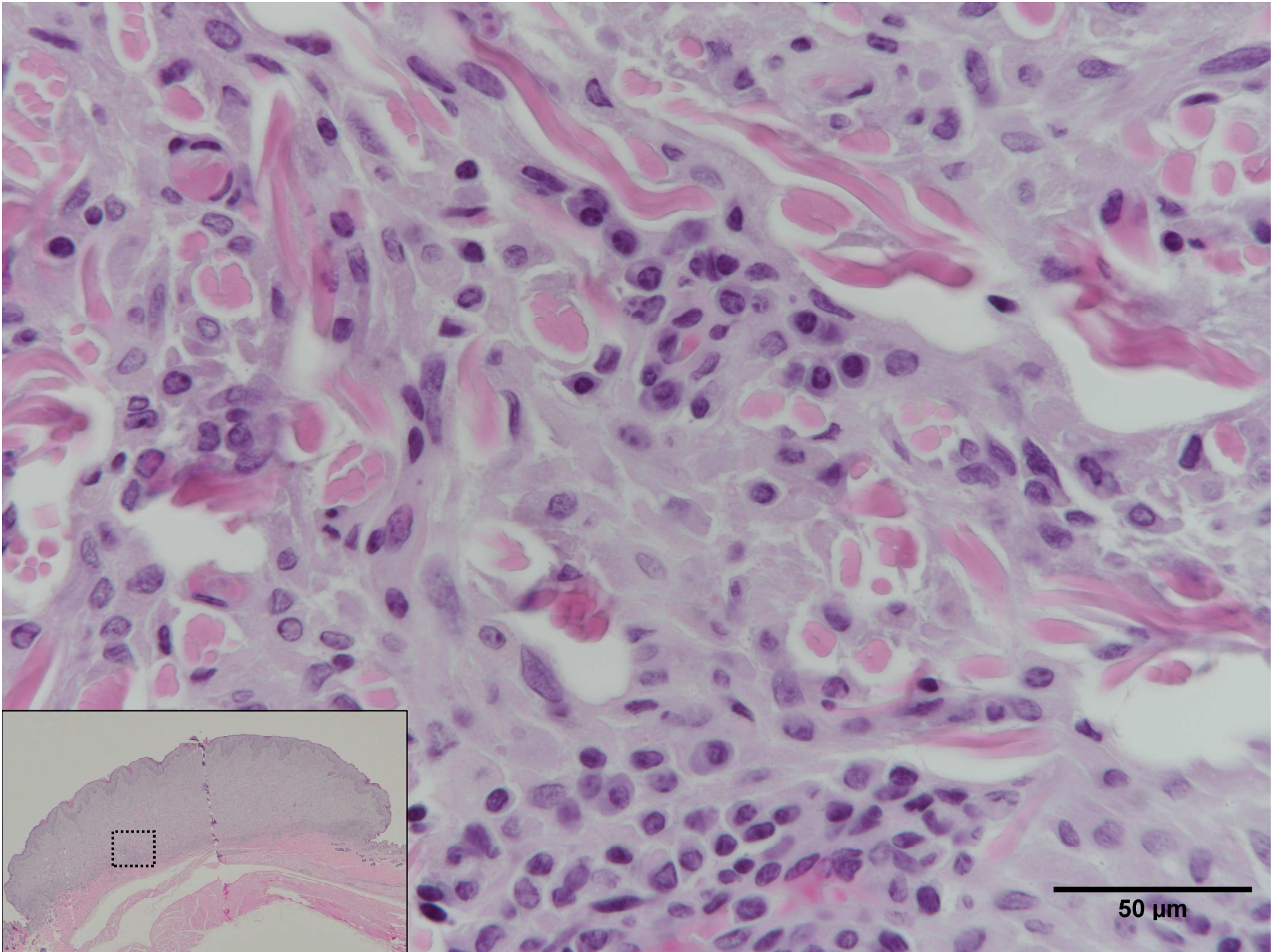












提出者の診断

有毛部皮膚：多病巣性皮膚線維腫、中等度の表皮の過形成、風船状変性、表皮細胞内および間葉細胞内にポックスウイルス性細胞質内封入体、および軽度のリンパ形質細胞性皮膚炎を伴う

Haired skin: Multifocal dermal fibromas, with moderate epidermal hyperplasia, ballooning degeneration, intraepithelial and intramesenchymal cell cytoplasmic poxviral inclusions, and mild lymphoplasmacytic dermatitis.

JPCの診断

有毛部皮膚：ウイルス性線維乳頭腫

Haired skin: Viral fibropapillomas, multiple

提出者のコメント

リス線維腫ウイルスについて

- ポックスウイルス科レポリポックスウイルス属
- 北アメリカに生息する
 - ・ トウブハイイロリス・セイブハイイロリス・キタリス・キツネリスで発生報告あり
- 顔面、体幹、会陰部および生殖器の体表に無毛性の結節を形成
- 組織学的特徴
 - 表皮の過形成
 - ケラチノサイトの風船状変性
 - 好酸性細胞質内封入体
- 皮膚病変は自然に退行する
- ウイルスの進入経路
 - 昆虫の経口摂取
 - 直接的な接触



すべてWikipediaより引用

提出者のコメント

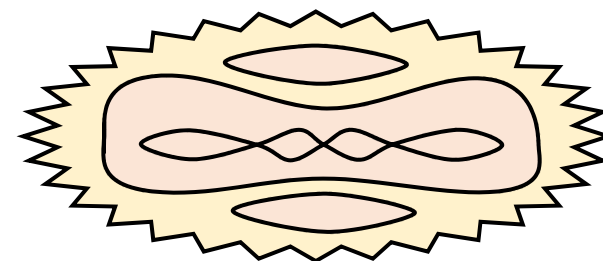
リスに特異的なポックスウイルス感染症

疾病名	ウイルス [属名]	宿主 [地理]	臨床転帰	肉眼病変	組織学的特長
リス線維腫症 (SQFV)	リス線維腫ウイルス (レポリポックス ウイルス属)	東部ハイイロリス、 西部ハイイロリス、 キタリス、 キツネリス (北アメリカ東部)	病変はしばしば退行、偶発的に死亡	皮膚の結節、まれに内臓の結節	上皮の過形成と間葉細胞(線維芽細胞)の増生；ケラチノサイトの風船様変性；上皮細胞と間葉細胞の増生とICIB
Squirrelpox (SQPV)	UK squirrelpox virus (コルドポックスウイルス亜科の新規の属、名前はまだない)	ヨーロッパのキタリス (ハイイロリスは耐性あり) [UKとアイスランド]	致死的	滲出性皮膚炎	潰瘍、痂皮を伴う上皮の過形成と壊死性化膿性皮膚炎；風船様変性とケラチノサイトのICIB
	Canadian squirrelpox Virus (未分類、パラポックスウイルス属が最も近縁)	北アメリカのキタリス (1症例のみ) (カナダ、ユーコン準州)			

ICIB：細胞質内封入体

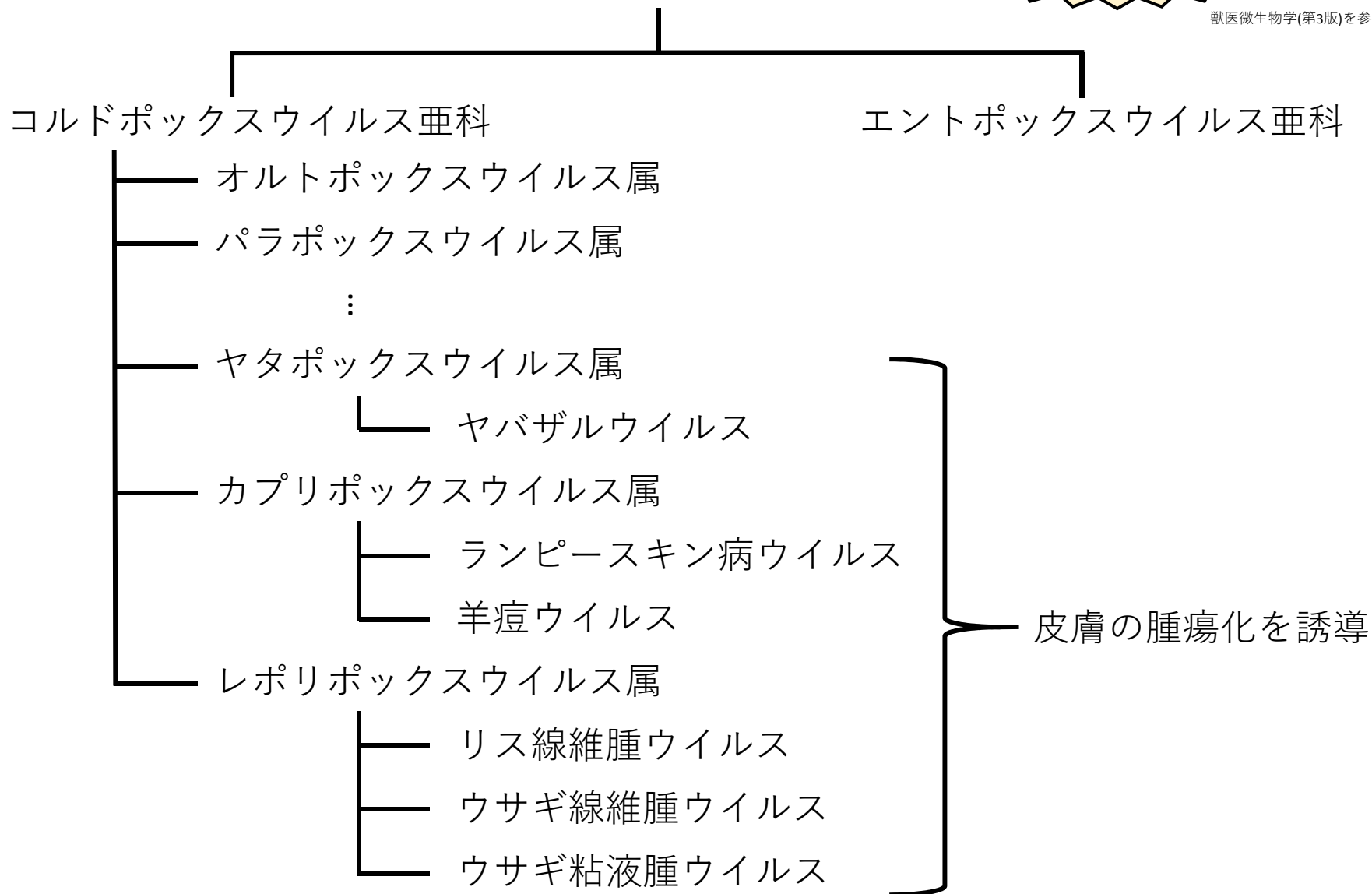
提出者,JPCのコメント

ポックスウイルスについて



獣医微生物学(第3版)を参考

ポックスウイルス科



JPCのコメント

